



聖書のことば

「古い人をその行いと共に脱ぎ捨て、造り主の姿に倣う新しい人を身に着け、日々新たにされて、真の知識に達するのです。」

コロサイの信徒への手紙 3章9節～10節

秋もいよいよ深まり、朝晩に寒さを感じるようになりました。その寒暖の差で、中高間の桜の木は一週間の間に日に日に色が変化していき、今見ごろの紅葉となっています。

さて、学校は11月3日の文化祭に向け、その準備に熱がこもっています。朝、昼もあちこちで発表のための練習風景があり、そこに急ぐ生徒の姿があります。文化祭での出会いは、普段にはない特別なものです。クラスで取り組むHR発表は、初めての事をするのですから、計画通りにいかないことも多いです。友人や先生、そして保護者の方々の知らなかった才能に驚かされることもあります。当日来てくださる一般のお客様は、そのために時間を使ってくださるのですから、精一杯の感謝をお返ししたいですね。一方、授業や部活動も毎日当たり前にあります。この忙しい一日をちゃんと過ごさせていただいていることに感謝いたします。

そんな中で、日々新しいものにされていることを実感したいですね。聖書の「日々新たにされる」とはどのようなことでしょうか。悪戦苦闘し、喜び、悲しみ、悩み、笑うことをいつも一緒にいてくださるイエス・キリストは、常に「愛」という命を与えてくださっています。その命をいただくことだと思えます。その無限大のパワーをいただくためには、「古い人を脱ぎ捨てなさい」と言われます。

しがみつくように手に入れようとしていることは、本当に大切なものですか。それを外からの軸で評価され、評価し疲れていませんか。得ようとするものより、失っているものの方に立ち返ることが必要なのかもしれない。

与えられた一日を新しいものとして歩ませていただきましょう。

(校長)



創立記念礼拝

9月29日(土)、玉川聖学院中高前校長の水口洋先生を講師にお迎えし、広島女学院創立132周年記念礼拝を持ちました。

中学では、百匹の羊の中で見失われた一匹の羊を見つけるまで捜し回る羊飼いのたとえ話をとおして、「徹底的に一人が大事にされる集団においては、皆と同じでなければならないという同調圧力に怯えずに、自分らしく生きることができる。自分が大切にされている者は、他者への寛容、配慮、優しさを持つことができる。しかし、現実の社会では『自国中心主義』『自分さえよければいい』という価値観が蔓延し、差別と排除の力が働いているように見える。広島女学院の基礎は、失われたように見える日本の若い女性達のために生涯を捧げたゲーンズ先生によって築かれた。『徹底的に一人を大事にされた』イエスの生き方、『他者の痛みを感じ、他者の救いを喜びとする』生き方を、キリスト教学校で学ぶ皆さんが実現して行ってほしいと願っている」と語られました。

高校では、自分のために富を積むことに懸命になっている愚かな金持ちのたとえをとおして、「有限の命を生きていることを自覚せず、自分の利益だけに心を向けていたことが彼の愚かさ。私たちの生きる社会もまた、多くのモノと情報にあふれ、成功すること、競争に勝つこと、より多く手に入れることだけを求め、人間としての大事なものを忘れてはいないか。神の前に豊かになる生き方とは、＜自分のものを増やしていく生活＞ではなく、＜自分に与えられているものを与えていく＞、惜しみなく人のために用いていく生き方。その時、与えようとして与えられ、助けようとして助けられていく。『自分のことで心が一杯』になっている時代の中にあって、『限りある命をどのように生きるか』に心を向け、これから

の人生を歩んで行ってほしい」と語って下さいました。



(宗教教育委員会)

学年行事の報告

《中1》 バイブルデイキャンプ・遠足

10月4日(水)の4～6限にゲーンズホールでバイブルデイキャンプを行い、翌10月5日(金)に安佐動物公園へ遠足に行きました。9月から聖書の時間にグループごとに聖書劇を制作練習してきましたが、バイブルデイキャンプでは映画『ジーザス』を鑑賞した後、各クラスの代表グループによる聖書劇発表を行いました。聖書劇は聖書のメッセージを現在の自分たちの生活実感に即して理解し、創作劇を制作しており、聖書を実に深く理解し、笑いも交えて表現していく、楽しいながらも考えさせられるものとなりました。

雨が心配された遠足は、予定より少し早く切り上げたものの、天候も何とかもってくれました。事前には、「えー、安佐動物公園～？ 幼稚園でも小学校でも行った～!!」と言っていた生徒たちも、グループでクイズラリーをしながら動物園内の散策と、お弁当後のクラスごとの自由な時間を楽しんでいました。2学期がスタートしてから忙しい日々を追われ、少しお疲れモードだった生徒たちは、久しぶりにゆとりを持った一日となったようでした。

(中1学年会)



《中2》遠足

中2は、クラス毎に遠足の行き先や現地での活動を企画しました。各クラスのHR委員が中心となって、LHRや終礼を使って遠足のルールや当日のタイムスケジュールなどを全て自分たちで考えました。行き先は、1組が中央森林公園でバーベキュー、2組が平田観光農園で果物狩り、3組が江の川カヌー体験、4組が備北丘陵公園でサイクリング、5組が中央森林公園と八天堂のパン作り体験でした。当日は残念ながら遠足日和とはなりませんでしたが、どのクラスも遠足を満喫することが出来ました。主体性を引き出すことを目的とした今回の取り組みが、普段の学校生活にも活かされていくことを期待しています。

(中2学年会)

《中3》長崎研修旅行

10月3日(水)～5日(金)の三日間、中3生徒たちは長崎研修旅行に行ってきました。旅行のテーマもちろん「ABC(当たり前のことをばかにしないでちゃんとやる)」。そのため教員もできるだけ見守るというスタンスでのぞむことにしました。

初日は広島駅で出発式を行った後、新幹線とバスで長崎へ向かいました。長い移動時間でしたが、クラスメートとの楽しい時間を過ごせたようで、あっという間に長崎に到着しました。到着後は平和公園周辺で最初の班別研修を行い、それからホテルへ移動し、語り部の方から被爆体験を聞かせてもらいました。

二日目は、落下中心地で平和セレモニーを行った後、班別研修を実施しました。どの班も事前に作成したプランにしたがって、午前中は「平和」に関する場所を、
午後には主に「歴史・

文化」に関する場所を訪れました。五時間にわたる班別研修でしたが、自分たちで考えて行動するという貴重な経験をする事が出来ました。

最終日の三日目は待ちに待ったハウステンボスでした。少しでも長い時間を過ごそうと、早めに集合・整列するなど自分たちで工夫していたのが印象的でした。開園後には、アトラクションを楽しんだり、お土産を買ったりと思いいいに楽しんでいる姿が見られました。

この三日間で、生徒たちの成長を感じさせる場面に何度も直面しました。時間を守る、人の話をきちんと聞く、周囲に適切な配慮をするといった社会に出てからも大切なことを、当然のようにこなす姿に、学年会一同本当に感動させられました。この研修旅行での経験をこれからの学校生活にもいかして行ってほしいと思います。なお研修旅行の成果は、レポートとして文化祭で展示しますので是非ご覧ください。



(中3学年会)

《高1》遠足

高1ではクラス毎に行き先と活動を計画し、10月5日(金)に遠足に行きました。

A組は倉敷散策、B組はしまなみ街道(生口島～尾道)をサイクリング、C組は尾道で映画に触れた後、市内を散策。D組は世羅でBBQとチーズやジェラート作り。E組は観光農園でフルーツ狩りと自分で採った果物を使ったジェラート作り。F組は宮島でBBQ、散策、担任の誕生日祝いとクラス毎に

楽しい時間を過ごしました。食欲の秋らしく、どのクラスも現地でおいしいものを食べることは外せなかったようです。学年ではなく、クラス規模だからこそできる活動を、HR委員を中心に、上手に企画してくれました。学校を離れ、非日常の中でリフレッシュできた一日となりました。

(高1学年会)



《高2》遠足

台風の影響により沖縄修学旅行は3月に延期になったため、高2は倉敷美観地区へ遠足にいきました。大原美術館で絵画を鑑賞し、当時の面影を残す白壁・格子窓の土蔵など情緒豊かな町並みを満喫しました。天候にも恵まれ、良いリフレッシュになりました。

(高2学年会)

《高3》遠足

女学院生活最後の遠足の行き先は、福山市にある、みろくの里でした。絶叫マシンに乗ったり、お菓子やお土産を買ったりと、自由に楽しく過ごしました。多くの生徒の笑顔が見られ、受験勉強の合間の良い息抜きになりました。残す行事もあと少しになりました。楽しい思い出をたくさん作って過ごしてほしいと思います。

(高3学年会)

キリスト教強調週間・主題講演保護者開放のご案内

今年度のキリスト教強調週間は、11月12日(月)～17日(土)、「天國無双」というテーマで実施いたします。11月13日(火)は通常の授業に替えて、主題講演と学年ごとの特

別プログラムが組まれます。

主題講演講師、松谷信司先生は、テレビ朝日の報道編集、キリスト教系小学校での教員経験を経て、キリスト教系出版社「キリスト新聞社」に入社し、現在代表取締役社長。現代の若者やキリスト教に縁のない人たちに通じることばで、キリスト教を伝える様々な試みをされています。著書『キリスト教のリアル』(ポプラ社)、編著『宗教改革2.0へ』(ころから)など。

以下の主題講演を保護者の皆様にも開放いたします。例年、多くの生徒たちの心に残る女学院ならではの深い出会いの機会を、ぜひお子様と共に経験していただけたらと思います。

日時：11月13日(火)

高校主題講演 9時05分～10時35分

中学主題講演 10時45分～12時05分

場所：ゲーンホール

生徒席の後や補助席にお座りください。なお、生徒たちが講演に集中できるよう途中の出入りはできるだけお控えいただきますようご協力をお願いいたします。

(宗教教育委員会)

最終下校時刻変更のお知らせ

最終下校時刻は、文化祭終了後の11月4日(日)より、中学生は17:30、高校生は18:00となります。ご家庭で帰宅時間の確認をお願いします。

(中学・高校生徒会)



保健室だより (6)

～インフルエンザの状況と予防～

広島市の流行状況

10月8日～14日…8人(すべてA型)

予防方法

- 流水と石鹸による手洗い
- 症状のある人は、咳エチケットとマスクの着用
 - ※咳エチケット…咳・くしゃみの際、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむける。ティッシュは、すぐに蓋つきのごみ箱に捨てる。
- 十分な睡眠とバランスのとれた食事
- 室内は加湿器など(洗面器に水をはるのもよい)を使って、適度な湿度(50～60%)を保つ
- なるべく人ごみを避ける
- 予防接種は重症化を防ぐのに有効。11月中に接種をするのが望ましい。(効果は5か月持続すると言われている)



インフルエンザにかかったら

- 早めに受診する
- 発症後5日間、かつ解熱後2日間は出席停止期間と定められている(学校保健安全施行規則)
- 勝手に判断して登校しないこと。必ず医師から登校許可証を発行してもらい(本校HPに記載)、登校すること。なお、許可証は有料の場合もある
- 解熱後も体内にウイルスが残っている可能性があるため、マスク着用が望ましい



(保健室)

心の健康 (6)

夏がとても暑く、今年は寒くならないのかと思っていましたが、10月の末から寒くなってきました。自然界の営みを感じます。

11月初旬には保護者も加わった学校行事があり、それが終わると月末の冬を迎える準備まで約3週間は、秋から冬へと移っていく良い季節です。木の葉は紅葉し自然の美しさを見せてくれます。この美しさは人の心にちょっとした感動を与えてくれます。

人間は自然が見せる姿に影響を受けるし、またその移ろいに人生を感じます。

11月は親と子で、また家庭で木々の美しさに触れて心に感動を呼び起こす良い時期です。人間関係を重視した日々の生活の中では忘れてしまいやすいのですが、自然に触れて心に湧いてくる感動は心身の増進をしてくれるようです。ちょっと歩みを止めて、木の葉の様子を見るゆとりを大切にしてみましよう。

(カウンセラー)

生徒の活躍

《中学》

◇中学新体操部

*第67回広島県中学校総合体育大会

団体: 優勝

◇中学放送部

*第35回広島市中学校総合文化祭

放送コンテストの部

団体: ラジオ番組部門

「AIに仕事を取られる?!」 4位

テレビ番組部門

「いつかピザ窯を」 4位

総合

3位

個人: アナウンス部門

O・S (3-2) 1位

朗読部門

I・M (3-4) 6位

《高校》

◇高校水泳部

*広島県高等学校新人水泳競技大会
200m 自由形

G・R (1-C) 8位

◇個人の活躍

*広島県高校生韓国語スピーチ大会
駐広島大韓民国領事特別賞

I・H (2-E)

*平成30年度中国五県珠算選手権大会
高校・一般の部 個人総合競技

N・A (2-E) 3位

フラッシュ暗算競技

N・A (2-E) 3位

*第40回ハイスクール・ミュージック・コンサート
ピアノ部門

N・Y (3-B) 優秀賞

管弦打部門

H・M (3-B) 優秀賞



今月の聖句

わたしはあなたたちがエジプトへ売った弟のヨセフです。しかし、今は、わたしをここへ売ったことを悔やんだり、責め合ったりする必要はありません。命を救うために、神がわたしをあなたたちより先にお遣わしになったのです。

(創世記 45章4～5節)

わたしたちの罪を赦してください
わたしたちも自分に負い目のある人を
皆赦しますから。

(ルカによる福音書 11章4節)

「赦す」ということは本当に難しいことです。兄たちの妬みを受け、エジプトへ奴隷として売り飛ばされたヨセフはなぜ赦せたのでしょうか? それは自分も神の前に罪人であることを知ったからではないでしょうか? 弱い罪人である自分が神様に赦され導かれて歩んできたように、他の人たちも赦され、その歩みが導かれているのだ。そう思えた時、ヨセフの心は恨みや憎しみから解放されたのだと思います。

聖書は人間の弱さ、自分の弱さと向き合わせてくれる本です。同時に自分の弱さ、人の弱さを赦すことで、私たちが解放してくれる本です。その聖書を共に読み、分かち合う礼拝の時間を、これからも皆さんと一緒に大切にしていきたいと思えます。

(10月19日 中学放送礼拝より)

聖書科 T. M)

11月行事予定

1	木	
2	金	文化祭準備日(授業なし) (中3、高1・2出校日)
3	土	文化の日 文化祭
4	日	最終下校時刻変更 Ⓜ17:30 Ⓜ18:00
5	月	振替休日(11月3日)
6	火	面接週間(40分授業)
7	水	1~3限 土曜授業
8	木	
9	金	教育フォーラム Ⓜ7限 講演会
10	土	第8回教育講演会
11	日	
12	月	キリスト教強調週間
13	火	特別プログラム(授業なし)
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	45分授業 1限8:40~ キリスト教強調週間特別礼拝
18	日	
19	月	
20	火	45分授業 参観日 高1・2スピーチコンテスト(7限~)
21	水	
22	木	金曜授業
23	金	勤労感謝の日 広島県高等学校キターマントリンフェスティバル
24	土	45分授業 1限8:40~ 特別礼拝 父親母親教室 選択科目1号用紙提出
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	

